

# 1月麻績村教育委員会定例会議 会議録

令和5年1月5日(木)

午後1時30分～

地域交流センター第3・4研修室

**出席委員** 職務代理 小山正文 委員 宮下温子  
委員 小松小百合

**出席職員** 麻績保育園長 塚原京子 麻績小学校長 佐々木英明  
筑北中学校校長 臼井伸明 教育長 加瀬浩明  
次長 臼井太津男 子育て支援コーディネーター 高野智弘  
主事 龍頭詩織

## 一 開会(加瀬教育長)

定刻となりました。令和5年1月の麻績村教育委員会定例会を始めます。  
よろしくお願いたします。

## 二 教育長挨拶(加瀬教育長)

## 三 報告

### 1. 教育長報告(近況報告、麻績村教育委員会の目指す姿について報告)

**教育長:**お願いたします(以下、資料に沿って説明)。

**臼井次長:**ただいまの教育長報告について、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、続いて子育て支援コーディネーター報告をお願いたします。

### 2. 子育て支援コーディネーター・保育園長・学校長報告

#### (1)子育て支援コーディネーター報告(近況報告)

**高野CO:**お願いたします(以下、資料に沿って説明)。

**臼井次長:**ただいまの子育て支援コーディネーター報告について、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、続いて保育園長報告をお願いたします。

## (2) 保育園長報告（近況報告）

**塚原園長:** お願いします(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** ただいまの保育園長報告について、何かございますでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、続いて小学校長報告をお願いいたします。

## (3) 小学校長報告（近況報告）

**佐々木校長:** お願いします(以下、資料に沿って説明)。

**白井次長:** ただいまの小学校長報告について、何かございますでしょうか。

**小山職務代理:** 今の来賓の話は、ここ 2、3 年来賓なしで他の色々な行事もやってきますから、極少数で良いと思います。例えば、議会なら議会を代表して 1 名、民生委員を代表して 1 名とかという形で、全員ではなくても良いのではないかと思います。特に保育園は余計に狭いから、今までの来賓が入るかというところではないでしょうか、全員ではなくて良いと思います。小学校のなかよし学級で干し柿を作って、あさつゆにありましたので買わせていただきました。美味しかったです。

**教育長:** 私もいただきました。ありがとうございます。

**佐々木校長:** 色々ところで買っていただいて本当に感謝です。

**白井次長:** 他いかがでしょうか。

**小松委員:** 登校できない子がいるということでしたが、ずっと家庭の中にいるということですか。

**佐々木校長:** そうです。

**小松委員:** どなたかの目が入る等、連携は取れているのですか。様子が全くわからないというわけではないですか。

**佐々木校長:** こまめに連絡は取っています。週に 1 回程度のペースで学校に来られてはいるので様子はわかっています。県のソーシャルスクールワーカーも一緒に入っていて、支援会議を定期的開催しているという状況です。

**小松委員:** 地域の活動で「わくわく自然村」等がありますが、子供の居場所ということで色々考えていて、学校に行けなくても外で自然と関わって、そういうものに参加ができれば良いと思います。学校との連携を考えていて、連絡を取り合いながらそういうことができるシステムをこれから作っていきたいと思っています。

**佐々木校長:** 外に出られるようになっていけば少し明るい方向が見えてくるかなと思うんですが、今のところそういう状況ではなく、平日に外に出るということ自体が、自分では「嫌だ」という状態です。「人と関わることは嫌だ、一人でいたい」という思いがあるので、今はその思いを尊重していますが、そうは言っても色々思いもあるだろうということで、そういう外部との関

係やフリースクールのなところも含めて相談はしていきたいと思います。

**教育長:**「こんなことをやっている」ということが具体的に紹介できると良いかもしれないですね。「こんな活動をしていますよ」と映像等で見られれば良いと思います。ちょっとまた考えてみます。それを受け入れるか受け入れないか、あるいは本人が見るか見ないかは別として、提供してあげる分には良いと思います。

**佐々木校長:**今の話で、放課後デイの話もそうなのですが、この谷の中に無いということが問題で、「わくわく自然村」の活動も始まっているが実は学校は何も知らない状態なので、どこかでそういう話を聞いたりすると保護者や本人にも話ができるんですが、そういうところを上手く連携を取っていただけると良いと思います。学校でも話題になっています。

**塚原園長:**「わくわく自然村」の月の活動の、イラストがついたポスターのようなものは毎月保育園に「掲示してください」と言って来るんです。そこに「何日に何をやります」と書いてあって、1月だったら「何日に餅つきをして食べます」等があります。そういうのは小学校には行っていないということですか。

**宮下委員:**図書館にはあるんですが、掲示をされている程度で結果を知らないという方が多いです。話が先に「わくわく自然村」で始まっているけど、学校でどういう対応を取っているという話ができないところからどんどん始まっていってしまうので、なかなか上手く行っていない現状ではあるのかなという気がします。「わくわく自然村」という組織はあるんですが、連携していくにはまだ連絡というところまでは行っていないかなと思います。

**小松委員:**5月から活動が始まったところなので、これから周知していくと同時に、小学校と連携を取らせてもらって、活動記録をしっかりと残したいと思っています。

**佐々木校長:**そもそも「わくわく自然村」は和栗さんが代表でやっているんですか。

**小松委員:**和栗さんが代表でやっています。

**佐々木校長:**キノネアク相談所という帯が入っていましたが関係あるものですか。

**宮下委員:**それは和栗さんのご主人です。

**佐々木校長:**本当によくわからない。山福さんとか色々ありますから。それが村だと榎本さんは連絡を取ってくれてわかっているという話だったんですが、学校と一切ないです。まずニーズとして、学校と「わくわく自然村ではどういことが出来ますよ」という話ができると、何かそういう場面があった時に「それなら行けるかもしれない」と考えることができると思うんですが、今はそれが全くできていないです。

**小松委員:**今度おみっこ応援団にも参加していただいて、そこでも連携していただければ手っ取り早いかなと思っています。

**佐々木校長:**そのところが大事だと思っています。先生方が本当に知らないのです。

**小山職務代理:** 結構人数は来ているみたいですよ。かなり広範囲から、この谷だけではなくて安曇野の方から来ている方もいるみたいです。平日にやることもあるから、通常の学校に行っている子は参加できないんですが、親子でなくとも、親だけ参加でも良いのかもしれませんが。

**小松委員:** 土曜日にもやっていて、たまに日曜日にもやっています。

**佐々木校長:** 小学校の児童も一人はよく行っているようで、承知はしているんですが、何をやっているのか、関係のない職員はよくわかりません。

**宮下委員:** まだ新しい団体なので。

**小松委員:** おみっこ応援団にぜひ入れていただきたいと思います。ありがとうございました。

**白井次長:** 他いかがでしょうか。

**宮下委員:** 冬休み中の体調不良等あるかと思いますが、どんな様子でしょうか。

**佐々木校長:** 休み中ここまで連絡が入ってきているのは児童 1 件感染、もう 1 件は濃厚接触です。職員も 1 人感染、1 人濃厚接触、1 人インフルエンザの疑いありです。今のところ思ったより報告は来ていないと思いますが、3 学期スタートでどうなるか心配です。

**宮下委員:** ありがとうございます。

**白井次長:** 他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、続いて中学校長報告をお願いいたします。

#### (4) 中学校長報告（近況報告）

**白井校長:** お願いします（以下、資料に沿って説明）。

**白井次長:** ただいまの中学校長報告について、何かございますでしょうか。

**教育長:** いよいよ進路で調査書ということになりますので、複数人でしっかりと点検して、絶対にミスのないようにお願いします。最後は校長先生に何度も見返していただきたいです。私自身も、調査書が上がってきて私のところで「これおかしいぞ」ということが何度か経験があったので、大変ですがぜひよろしくをお願いいたします。

**白井校長:** わかりました。

**白井次長:** 他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、協議事項に移ります。

#### 四 報告・協議事項（加瀬教育長）

##### (1) 全国学力・学習状況調査の結果公表について（1月発行広報）

**教育長:** 12月の定例教育委員会でそれぞれ小中学校から内容、状況等報告していた

だいて、それを公表資料としてまとめさせていただきました。学校で作っていただいたものです。この中身について、これで広報への掲載ということになりますので、これで良いかどうかということになります。ざっと見ていただいて、何か気になるところがあればお願いします。今日は時間があまりありませんので、お帰りになったところを見ていただいてもし何かあればお願いします。校長先生から何か特にありますでしょうか。よろしいでしょうか。

**白井次長:**実際には毎年広報の 1 ページに小中学校を半分ずつ分けて掲載するので、実際には出していただいたものをさらに簡略版といいますか、まとめる形になると思います。

**白井校長:**今年は 24 人中 4、5 人休んで、その中での結果なので、結果はこういう結果ですが、広報に出すと村の人の捉え方は「麻績の小学校、中学校は勉強ができる、できない」という捉え方になると、当然これを見ればそうなると思うんですが、恐らく全国学調がスタートした時点では、学校の教員がこの結果を見て授業改善に活かしていくというような趣旨が当然入っていたと思うので、広報にはこのように掲載しますが、そこのところは大事にしていかなければならないと思っています。

**教育長:**なかなか結果をそのまま書いても理解してもらえないので、私が議会で答弁した部分を最初に文章で載せて、実際こういう形で今後こういう風に活かしていきたいと掲載していく方向にしましょうか。

**白井校長:**当然課題は課題としてあるので、村民の方にも知っていただかないといけないんですが、一番は小中学校 2 人の校長がちゃんと先生たちに、本校の子どもたちのウィークポイントとか良さとかを自覚させて、次の「一人ひとり丁寧に」という対応に繋げさせていくということが大事で、十分できている訳ではないんですが、そういうことが大事かなと改めて思いました。

**教育長:**そんな方向で例年と違いますが、まず最初に私のほうから「全国学調をこういう風に捉えて、今後こういう方向で取り組む」という文を先に載せて、その上でそれぞれの小中学校のここに挙げていただいているころから抜粋をして掲載をするということで良いでしょうか。

**白井校長:**個人的な考えなんですけど、全国学調でいくと思考・判断・表現や、主体的に取り組むこと等が前面的に出ていますが、元々の知識・技能みたいなものは当然なくてはならないもので、その上に活用があるので、物を知っているかどうか等そういうところを疎かにしていると思います。始業式の話にも書きましたが、「都道府県の県庁所在地全部言えるか」だとか、「都道府県全部言えるか」、「かけ算九九できるかどうか」というそういうことがきちっとできているかどうかもやはり大事だと思いました。昔のように、列に並ばせて言えなければ座れないというような、ずっと立たされた教育をされて覚えてきた私としては、そういう教え方は良くないとは思

んですが、やはり九九が言えるとか、音読ができる、教科書が読めるとかは、努力すればできるかはわからないが、地道に繰り返しやっていけばもしかしたら読めるかもしれないと思うので、そういうところを丁寧に身に付けさせたいと思います。漢字だって書けた方が良いでしょうし、今はパソコンを打てばできるからそんなにやっていないかもしれないが、そういう基礎基本は改めて大事なかなと思いました。

**教 育 長:**最初、十数年前に「基礎・基本」という言葉が出てきたときに物凄く議論されたところで、やはりベースがないと色々なところに発展していかないので、ベースの部分「基礎・基本」をどう捉えてどういうものを教えるべきかということですので議論されたのですが、まさにそういうところかなと思います。

**白井校長:**何もないところに議論は起きないので、色々なことを知っていて物知りな子ども、本当に天才博士な子どもたちいるではないですか、ああいう子どもたちが居てもというか、1つのものについて研究して物知りになってそういう子どもが居ても良いし、色々総合的に判断できる子供もいると思うし、そういう見方を私たちもできていけば良いかなと思います。

**教 育 長:**実際に新聞読むとか、色々ネットで調べるとかできるようになりましたけど、現状としては、先程校長先生が言われたように ICT が大分普及をしてきて、それでやっていくという方向が出てきているので、それを無視してはいけないので、そこのところからどうやって取り入れて上手くやっていくかということ、実際に中身として考えていかなければならないところに来ていると思います。先程課題で出された、容量が足りなくて学習ができないということに関して、早急に対応しないといけないかなと思います。急遽コロナで一気にそれが出てきたので、根本的に対応できていない部分がたくさんあるので、それは早く対応しなければならないと思っています。ただ、国や県からの交付金等に関しても遅れているので、とにかく児童生徒 1 人に 1 台ずつ端末を配ってというところだけできていますので、課題として預らせていただきます。なるべく早く対応できるようにしたいと思います。

**白井校長:**そういう流れになってきたので、職員用の ZOOM の ID を貰えるとありがたいです。今は子どもたちの ID を使って学年会等をやると、子どもたちが入っている場合があります。一度私は全県の会議をしていたら、子どもが会議に入ってきたことがあったので、職員用の ID が各学年に 1 個あるとありがたいかなと思います。月 1,500 円だったと思います。会議、学年会を開くときに、3 個は要らないと思うんですが、1 個いただければより活発に会議ができるかなと思います。

**教 育 長:**わかりました。やっていかなければいけないんですが、ICT を推進しろと先に来てしまって一人一台端末になっているんですが、その部分を実際に

追いついていないというところもあります。非常に苦しい部分ではあります、やらなければいけないので、もう動いてしまっているからどうしても必要なのです。

**佐々木校長:**やはり今コロナ対応で、結構リモートで授業を一応見せていると、全部の学年が使ってしまったらとホストで開催ができないです。確かに小学校もそうなんです、特別支援学級の ZOOM の ID はないので、特別支援学級は配信 45 分間限定の無料のアカウントを使っているし、あと 1 個あるとありがたいと思います。それよりまず容量をギガ (GB) に変えないとダメだと思います。全員が使うとあんなに止まってしまうんだなと思いました。2 学期になって、今までそんなことなかったのに、小学校はちゃんとしていると思っていたらこの前言われて、本当に止まってしまったので。

**教 育 長:**そこまで活用していただいているということが、他のところではまだまだとてもそんな状況にはなっていない学校が多いと思うので、ありがたいですが、早急になんとかしないといけない部分ですね。他いかがでしょうか。全国学調の公表は、この方向で、最初のところに私のコメントを付けて、その後小中学校の報告を抜粋して付けて出す方向でよろしいですかね。それではそのような形で進めさせていただきたいと思います。よろしくお願いたします。それでは、次に移ります。

## (2) 第 4 次長野県教育振興基本計画について

### ・麻績村振興計画

**教 育 長:**長野県教育委員会から、国のものを受けて第 4 次長野県教育振興基本計画の案が出されました。これから県の方は検討していくので、これが決まったところで、これを受けて今度は村として基本計画を作るという流れになります。ですので、本日はどうこうという訳ではないんですが、まず県の基本計画の案を印刷してきましたので、まだ全然読み込めていなくていけないんですが、そのことをご承知おきください。振興計画等について、皆様方からご質問、ご意見等あればお伺いしたいと思いますが、いかがでしょうか。村の振興計画の進行状況等について、全体の流れを次長から説明をお願いします。

**白井次長:**小山職務代理が審議委員会の委員になっております。今年度 3 回ほど実施されて、この連休明け 11 日午後 3 時から再度審議会が開催されるという流れになっております。審議会の中では全体的なたたき案を委員全員にお配りして、そこでまず確認をいただいております。今回の振興計画につきましては、基本的に「よりわかりやすく、端的に」ということで、従来の文章を中心としたものからかなり文章的な流れはできるだけ少なくという形になっています。今各担当課の方に再度確認依頼が来ているんですが、それを見ても文章をですます調にするか否かまだ統一されてもいませ

るので、まだまだたたきのたたきにしかなくていなのが事実です。文章的な説明を端折ると言っても、やはりここは説明しなければいけないというところを考えてみると、端的に物事を箇条書きするということの難しさを非常に感じているところです。ですので、今一応そのような形で進んでして、次は1月11日に開催されるということで、その後につきましては年度末に向けて再度最低でも月1回開催されていく予定になっております。本来的にはこういう形で今教育委員会関係の方はこういう部分で、とお示しできれば良いのですが、審議会の前なのでなかなか色々ありますので、今回は進行状況の説明だけにとどめさせていただきます。

**教育長:** 原案のたたき台のたたき台が11日に出されると、第2回までのところは今までのものはこうだというものが出されて、小山職務代理が委員に入っているというので、教育のことに色々ご意見をいただいたり、あるいは皆様方からご意見等が出たところで職務代理に繋いでいただければ反映できるかと思っておりますのでよろしくお願いたします。ですので、まだ全くたたき台も出ていないというような状況でありますけれども、振興計画が今進み始めているということだけご承知おきください。よろしくお願いたします。何かございますでしょうか。

**白井校長:** ここに盛り込むかどうかはわかりませんが、教育というと学校が中心になっていくとは思いますが、子どもを育てていくにあたっては、当然保護者のサポート、子どもの見方が大事になってくると思うので、今保護者に対してのメッセージはあまりこの中に入らないので、麻績村として「学校と地域と保護者が一体になって教育を進めていきます」というような文章が少しあると良いかもしれないと思っております。保護者の方の子どもに対する見方を変えていかないと、保護者が受けてきた教育と今の教育がイコールではないということも考えていかないと上手くいかないので、学校と保護者が一体になって、共通の意識で取り組んでいくということについてメッセージがあると良いかなと少し思いました。

**教育長:** 参考にさせていただきます。他いかがでしょうか。よろしいでしょうか。また具体的に出てきたところでお示ししたり、定例教育委員会に間に合わなかったり時期が合わなかったりした場合はお送りしたりさせていただいて、確認していただく形で進めていきたいと思っておりますので、ご協力よろしくお願いたします。それでは、次に移ります。

・部活動地域移行(スポーツ・文化とも)

**教育長:** 次長からお願いたします。

**白井次長:** お願いたします。今社会体育として活動している部活は社会体育として継続していきたいと思っております。村費教職員が野球部・バレー部の指導を行っていますが、県補助金(部活動外部指導員)をいただいているが限度額を超

えているので、超えている部分については国補助金を充てる予定です。文化部の地域移行が難しいですが、松本市も文化部含め地域移行予定というように、いずれは部活を学校から切り離すことになると思います。麻績村はできる限り休日のみでなく、社会体育に移行できるものは地域移行を目指します。ただ、地域移行の受け皿が非常に弱体化している、または受け皿がなくて困っているのが、形式だけになっている委員会を再度実働部隊として叩き直していければ、そこを拠点として地域移行を進めたいと思います。近隣市町村は急いでいないが、麻績村は補助金を受けているため急いでいます。筑北村と7月頃協議をしたが、まだあまり考えられていないようです。現在の地域の指導者の方々はほぼボランティアで、各体協のジュニア育成から補助金が出ており、燃料代等に充てています。指導者の方々に謝金を貰う意識があまりないのですが、地域移行するとなると、明確化しなければいけないが、予算がどれほど必要か難しく、今年度は補助金があり謝金を払えるが、来年度はどうするか、ボランティア精神でやっていただくのが正式とは思えません。新聞報道等で地域移行について大きく出ているが、進んでいる自治体は進んでいるが、小規模自治体には難しいが、組織も含めできるだけ社会体育移行を進めていきたいと思います。

**教 育 長:** 具体的になかなか進んでいないということと、麻績の場合は今体育館を工事していて全く使えないということもあり、活動自体が今止まっています。ただ実際には国の方は令和7年度にある程度地域移行をとということで、実際に令和5年度から、5、6、7と進めていく事業としていますが、具体的なこととか、お金が全く出て来ていないんです。ですので、どうしたら良いか、先程言ったように今年は予算をモデルとしていただいたのでなんとかできるんですが、そこから先どうするか、国からそういうためのものが出てくるのかわからないということで、進められない状況もあり、現状としては部活動をそのまま継続はしていただいて、実際に移行できる部分のところを今後いろいろな部分が出てきたり、あるいは体育館等村の体育施設が整ったところととを考えておりますので、現状としては本当に苦しい状況で、やるにやれない、動くに動けないという状況がありますのでご承知おきいただいて、慌てずに令和7年が移行の初年度と国の方では言っているので、そこまでのところでやれるところからと考えていければと思っていますので、大変申し訳ありませんが、よろしく願いいたします。そういったことに関わって何かございますでしょうか。

**小山職務代理:** 国もやれと言いながら思い付きでやっているような感じですね。

**教 育 長:** 実際には今先生方が休日に出ると3,000円だか手当が出るんですが、それは結構大きな予算が取ってあって、それが全く地域移行で出なくなる、要らなくなるので、お金はあるはずなんですが、実際にそこら辺のところは国の方としては全く言って来ないので、これを言わないとすれば先程次長

が話したようにボランティアでという訳にはいかないので、村で負担するしかなくなってしまう。

**白井次長:** 国の方の想定している予算は、地域移行していくに対してのコーディネーターの支援等に対する費用で、小規模自治体になってくると、そもそもそのコーディネートする人材をどこから見付けてくるかというところがあります。元々国の補助金は何でもそうですが、基本的にこんな小規模自治体が多くあるというのは長野県と北海道くらいしかないので、ほとんどはある程度の規模以上の自治体ということになってくると、補助金も小さいところをあまり意識していないというところがあるので、なかなか難しい部分が出てきています。説明につきましては報道先行というところもあるので、また中学校だけではなく小学校の方にも、皆さんに説明してご意見を聞くという形で進めていきたいと思えます。今年度につきましては、あくまでも移行への準備期間という捉え方をさせていただければと思えます。

**教育長:** 地域移行につきましてはそんな状況でございます。体育館は3月20日前後に改修が終了して使えるようになるという状況です。他よろしいでしょうか。ありがとうございました。それでは、その他に移ります。

## 五 その他

### 1) 各委員から

**教育長:** それでは各委員の皆様から一言ずつございましたらお願いしたいと思えますがいかがでしょうか。職務代理から。

**小山職務代理:** 先程お話にありましたが、コロナがどういう形になるのか見通しが立たない中で、色々先生方も大変だと思えますが、またよろしくお願いたします。

**教育長:** 宮下委員をお願いします。

**宮下委員:** 令和5年を迎えて、麻績村の振興計画7期を練っている最中ということで、アンケートの時点で子育てについてどんな内容が来たか気にはなっていたんですが、子育て環境の充実と、村長さんが仰っているように、明確に分かりやすく記載していただければ、子育て中の方にも目に留まる内容になってくると思えます。色々な部分に課題がたくさんあると思うので、連携して動いていく年になるのかなと感じています。

**教育長:** 小松委員をお願いします。

**小松委員:** 第4次長野県教育振興基本計画の案の中の、第3編第2の政策の中に、柱の1が「一人ひとりが主体的に学び他社と協働する学校をつくる」、2が「一人の子どもも取り残されない『多様性を包み込む』学びの環境をつくる」とあり、そこが大事な順番で入っていると思い、良かったと思いまし

た。一人ひとりが自分の学びを確立していくことと、一人も取り零さず幸せになれるようにすること、学歴やその他の経験を積んで社会に出ていけるようにという、そこをしっかりとやっていきたいと思えます。学校に直接通えなくても、一人ひとりが幸せになれるような方法をなんとか私たちもサポートしていけたらと感じています。

**教育長:**ありがとうございました。事務局からお願いします。

## 2) 事務局から

**白井次長:**お願いいたします(以下、資料に沿って説明)。

- ・教育委員会傍聴人規則の改正と公布について
- ・放課後デイサービス問題(信毎掲載)に係る放課後児童クラブの対応等について
- ・松本圏域児童支援研修 実施のお知らせ(基幹相談支援センター依頼)
- ・体育協会の表彰関係

清水 大…昨年度国体県予選 3 位で本大会に出場

11 日振興計画評議委員会終了後に表彰予定

黒岩千隼…県大会準優勝、団体準優勝

黒岩昇矢…県大会優勝

2 月帯広で全国大会出場

その後全国大会の成績確認後、年度末までに表彰予定

**教育長:**ありがとうございました。漏れがあつてはいけないので、大会出場者の情報だけいただければ調べますのでよろしくお願いいたします。それでは次回の日程に移ります。

次回の定例教育委員会の日程 2 月 6 日(月) 午前 9 : 30 ~

**教育長:**全体を通して何かありますでしょうか。よろしいでしょうか。ありがとうございました。

## 六 閉会 (加瀬教育長)

長時間にわたり、ありがとうございました。以上で 1 月の麻績村教育委員会定例会を閉会します。